

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 1 区分
【発行日】令和 4 年 8 月 30 日(2022.8.30)

【公開番号】特開 2021-174638(P2021-174638A)
【公開日】令和 3 年 11 月 1 日(2021.11.1)
【年通号数】公開・登録公報 2021-053
【出願番号】特願 2020-76457(P2020-76457)
【国際特許分類】

H 0 1 R 24/54(2011.01)

10

H 0 1 R 13/631(2006.01)

【F I】

H 0 1 R 24/54

H 0 1 R 13/631

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 8 月 22 日(2022.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

回路基板に実装されるハウジングと、
前記ハウジングに取り付けられ、前記回路基板に接続される複数の実装端子と、
前記複数の実装端子を支点として個別に揺動可能であり、複数の相手側端子と個別に接続される複数の可動端子と、
前記複数の可動端子を貫通させた形態の連結部材とを備えているコネクタ装置。

【請求項 2】

30

前記複数の可動端子には、前記複数の可動端子が前記連結部材を貫通する状態に保持する保持部が形成されている請求項 1 に記載のコネクタ装置。

【請求項 3】

前記連結部材には、前記保持部に対して弾性的に係止する弾性保持片が形成されている請求項 2 に記載のコネクタ装置。

【請求項 4】

前記連結部材が導電性を有する材料からなり、前記連結部材には、前記可動端子の可動側外導体に対して弾性的に接触する弾性接触片が形成されている請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 項に記載のコネクタ装置。

【請求項 5】

40

前記連結部材は、板状をなし、リブ状に突出した補強部を有している請求項 1 から請求項 4 のいずれか 1 項に記載のコネクタ装置。

【請求項 6】

前記補強部が、前記連結部材の外周縁から屈曲状に突出した第 1 補強リブと、前記連結部材のうち前記外周縁から離隔した領域に前記外周縁に沿うように配置された第 2 補強リブとを含んでいる請求項 5 に記載のコネクタ装置。

【請求項 7】

前記第 1 補強リブと前記第 2 補強リブが、前記外周縁の長さ方向において部分的に同じ領域に配置されている請求項 6 に記載のコネクタ装置。

【手続補正 2】

50

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0005
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0005】

本開示のコネクタ装置は、上記のような事情に基づいて完成されたものであって、接続動作の信頼性に優れたコネクタ装置を提供することを目的とする。

【手続補正3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0033
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0033】

可動端子40を第1コネクタ10に取り付ける過程では、抜止め突起53が抜止部21と干渉して弾性アーム部20を径方向外方へ弾性変形させるため、弾性アーム部20と可動側外導体48との間に摩擦抵抗が生じる。しかし、抜止め突起53の数は、弾性アーム部20の数の半分である4つとしているので、8つの抜止め突起53が8つの弾性アーム部20と干渉する場合に比べると、抜止め突起53と抜止部21との干渉に起因する抵抗が小さく抑えられている。可動側外導体48の外周面が抜止部21に接触することによって、可動側外導体48と実装側外導体18とが導通可能に接続される。

【手続補正4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0044
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0044】

図6～8に示すように、連結部材60は、連結部材60の剛性を高めるための部位として、4つの第1補強リブ74と、2つの第2補強リブ78を有している。第1補強リブ74は、連結部材60の外周縁のうち前縁部60Fと後縁部60Rとに形成されている。詳細には、第1補強リブ74は、基板リブ75と斜面リブ76と垂壁リブ77とから構成されている。基板リブ75は、基板部61の前端端と後端縁のうち左右方向中央部を除いた領域から、下方へ直角に突出している。斜面リブ76は、斜面部62の前端縁と後端縁の全領域から、斜め下方へ直角に突出している。垂壁リブ77は、垂壁部63の前端縁と後端縁の全領域から、反対側の垂壁部63に向かって直角に突出している。基板リブ75と斜面リブ76と垂壁リブ77は、屈曲した形状をなして1本に繋がっている。

【手続補正5】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図8
【補正方法】変更
【補正の内容】

10

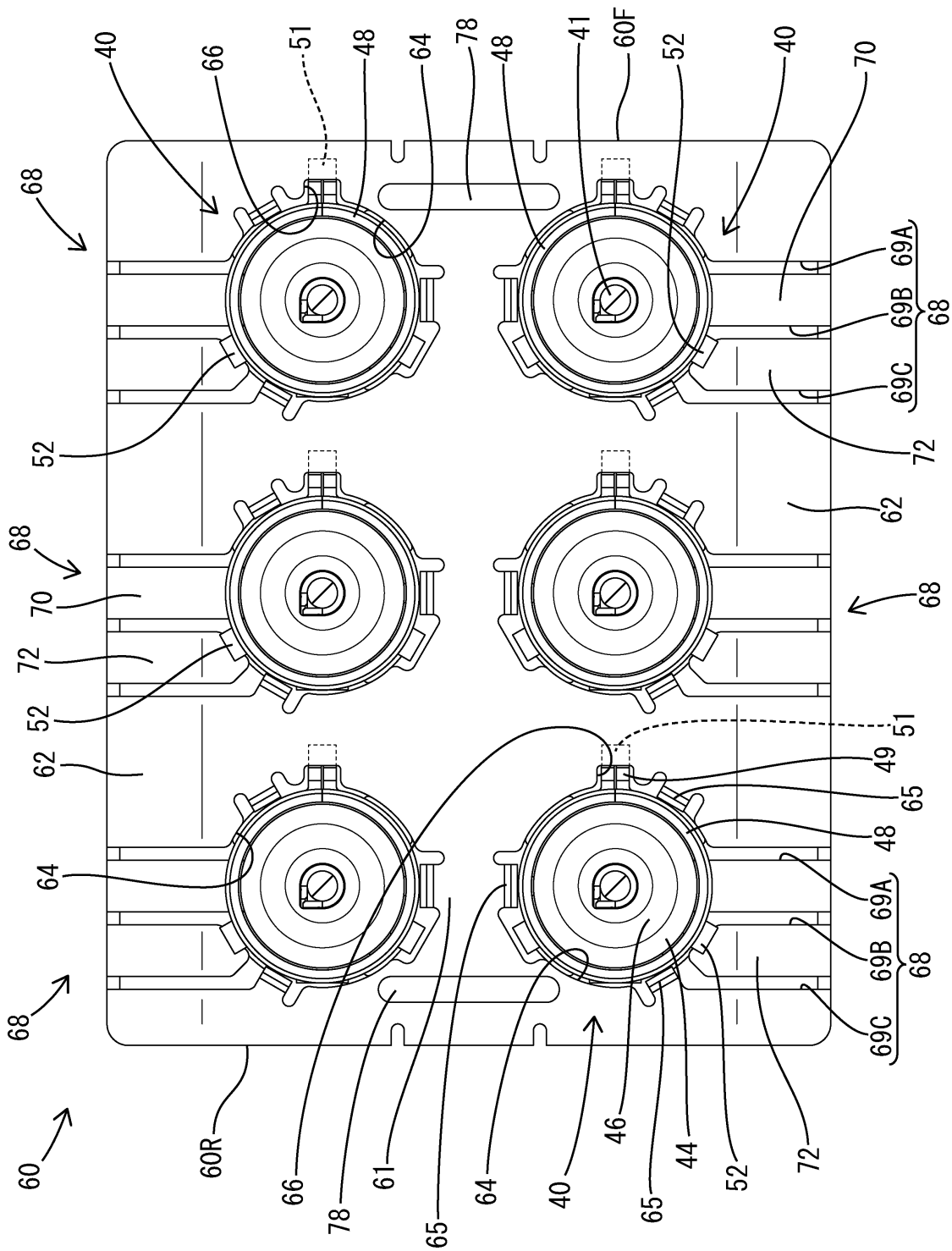
20

30

40

50

【 図 8 】



10

20

30

40

50